

## 第二款 豫備調査

著手、目錄提出、轉業交付金調査、製鹽地交付金調査、建物交付金調査、設備器具器械調査、執務概況、交付金見込額

豫備調査進行ノ順序及其ノ方針ハ大體ニ於テ明治四十三年度ノ例ニ依レリ只本年度整理地ハ主トシテ鹽ノ主產地ニ散在シ又前年度ニ比スルトキハ當業者智識ノ程度モ概シテ一般ニ發達シ居ルノミナラス其ノ關係者ハ關西、九州、四國ノ一圓ニ集團シ從來鹽業ニ關シテハ常ニ一致ノ行動ニ出ツル沿革ヲ有スルヲ以テ相互氣脈ヲ通シ團結シテ政府ノ處置ニ對抗スルノ虞アルヲ以テ之カ調査ニ關シテハ公平、綿密、正確ヲ期セサルヘカラサルト同時ニ各支局間ニ於ケル取扱其ノ寬嚴宜ヲ得互ニ權衡ヲ失セサルコトニ最深ク注意セサルヘカラサルモノアリ是ヲ以テ豫備調査ノ著手ニ先チ關係各支局ノ會合ヲ催シ其ノ步調ヲ整フルノ必要アルヲ認メ標準價格評決終了ノ機ヲ選ミ比較的關係少ナキ鹿兒島支局ヲ除キタル各支局長ヲ尾道支局ニ會合シ本局ヨリハ參事河野巖男及主事富澤充之ニ臨ミ主トシテ標準價格ノ認定及調査上ニ關スル方針ニ關シ諸種ノ打合ヲ爲シ併セテ標準物件ノ價格保存年期、成功年期等ノ高低長短ヲ比較シ以テ關係各支局間ニ於ケル取扱方ノ統一ヲ期シタリ右會合ハ七月二十九日ニ開キ同月三十一日ヲ以テ之ヲ終レリ先是三田尻專賣支局長兒玉史郎ハ病氣ヲ勉メテ尾道ノ會同ニ列シタリシカ後一箇月ニシテ竟ニ起タス同支局調査事務ノ進行上主事富澤充ヲ同支局長ニ兼任セシメ調査進行ノ澁滞ヲ免ルルヲ得タリ本年度整理關係當業者ノ狀態ハ前年度ノ整理地方ニ比シ大ニ趣ヲ異ニスルモノアルハ既ニ述フル處ノ如シ故ニ目錄ノ提出方及之カ作成方ニ關シテハ亦深ク前年度ニ於ケルカ如ク干涉ヲ試ムルノ必要ヲ認メサリキ故ニ是等ノ地方ニ對シテハ只目錄作成方ニ關スル必要ナル事項及除外物



件ノ記載ヲ爲ササルコト等ヲ懇示シタルニ止メ價格ノ記載方ノ如キハ其ノ自由ニ一任セリ尤當業者ノ要求アルトキハ之ニ應シ便宜出張所ニ於テ記載シ與ヘタルハ言フ俟タス

目錄ノ提出ニ關シテハ其ノ記載物件及數量價格等ハ交付金決定ノ前提トナルヘキモノナルヲ以テ當業者ハ其ノ提出ニ對シテハ頗ル慎重ノ態度ヲ採リタルノミナラス地方ニ依リテハ出張所ヨリ周到ノ指示ヲナセルニモ拘ラス故意ニ除外物件ヲ記載シ又ハ法外ナル高價ヲ記載シタルモノアルノミナラス中ニハ目錄提出ヲ爲ササル中ニ前年整理ノ模様ヲ探タルモ反テ同地方舊製造者ヨリ政府調査ノ精密ニシテ信賴スキ所以ヲ聞知シ歸來直ニ目錄ヲ提出シ出張所ノ調査ヲ信賴スルニ至リタルモノアルモ地方ニ依リテハ比較的智識ノ程度低クシテ之カ作成ニ堪ヘサルモノ又ハ民部ノ絶對ニ平穩ナル地方ニ對シテハ前年ニ於ケルカ如ク或ハ本人ノ意見ヲ別ニ記載提出セシメ其ノ不當ト認ムヘキモノニ對シテハ注意ヲ加ヘテ訂正セシメ不當ト認ムルニ至テ記入シ與ヘタルモノ又ハ總代ヨリ申請者各自ノ見込價格ヲ申出テシメ不當ト認ムルモノニ對シテハ注意ヲ與ヘテ訂正セシメテ之ヲ記載シ與ヘタルモノ又ハ目錄ノ記載ニ必要ナル事項ヲ當業者ヨリ提出セシメ總テ取扱官署ニ於テ記載シ與ヘタルモノ等アリ各地共全ク期限内ニ之ヲ提出シ客年度ニ於ケルカ如ク提出期限ヲ經過シタルカ如キハ全ク絶無ナリキ

本年度ニ於ケル轉業交付金ハ其ノ請求人員ノ少ナキト鹹水製造者又ハ自家用ヲ目的トセル如キ小製造者ノ寡キ爲著ク其ノ調査容易ナルヲ得タリ然ルニ撫養支局見能林出張所區域内ニ於テ從來其ノ地方ハ製鹽ヲ專業トシテ生活シ來レルモノナルニモ拘ラス法律ニ依リ轉業交付金ノ恩典ニ浴シ得ヘキモノ現在製鹽者二十名中僅ニ七人アルノミ多クハ往年犯則事件ニ關聯シテ資本主ヨリ製造者名義ノ變更ヲ餘儀ナクセラレ明治四十二年末製造者ハ家族又ハ親族ノ名義ニ之ヲ變更シ爲ニ交付金ヲ受クヘキ法律上ノ資格ヲ失フコトトナリタルヲ遺憾トシ製造者間ニ劇甚ナル



動搖ヲ來シ遂ニ之ヲ大臣又ハ長官ニ陳情シ或ハ出張監督員ニ哀ヲ訴フル所アリタルモ法律上ノ規程ハ遂ニ如何トモ爲シ難ク常ニ之ヲ慰諭シ善後策トシテハ只誠意轉業ノ方法ヲ講スルノ外ナキ旨ヲ告ケ鎮撫ニ勉ムル所アリ爲ニ一般平穩ニ歸シ孰モ其ノ堵ヲ安スルニ至リタルモノノ如シ若夫調査上ニ關スル諸般ノ順序方法等ニ至リテハ前年度ニ於ケルト異ル所ナシ

本年度ニ於ケル製鹽地ハ悉ク鹽田製鹽方法ニ依ルモノニシテ鹽田以外ノ製鹽方法ニ依ルモノナカリシニ依リ製鹽地ノ見積價格ハ多ク納付鹽賠償金額ヲ基礎トシ法定計算ニ依リ定メラルヘキモノナルヲ以テ之カ調査上敢テ困難ナル問題ヲ生スルコトナカリシモ只地方ニ依リ明治四十一年ハ豐作ナリシモ明治四十二年ハ之ニ反シ不作ナリシ爲當業者ハ見積價格計算ノ基礎ヲ明治四十一年分ニ依リ定メラレムコトヲ切望シ明治四十二年中鹽田ニ小修繕ヲ施シ一時採鹹ヲ休止シタル事實アルヲ理由トシテ連リニ同年中製造ノ不繼續タルコトヲ主張シテ止マス或ハ當該支局長ニ或ハ出張監督員ニ陳情シタルモノアルモ反覆法令ノ趣旨ヲ説明シテ其ノ主張ノ理由ナキヲ諭示シタルニ當初ノ主張ヲ翻スニ至レリ

製鹽地禁止後ノ利用問題ニ關シテハ各地共之カ講究ニ充分ノ苦心考慮ヲ重ネタル所ニシテ利用ノ方法一ニシテ足ラスト雖要スルニ利用上最有利ナルハ加工シテ水田ト爲スニ在リ然ルニ灌溉用水ノ便ヲ缺ケル鹽田特有ノ事情存スル爲整理地段別ノ四分ノ一弱即チ百二十八町步餘ハ水田トシテ利用スルコトトセリ其ノ比較的大規模ノ加工設計トシテハ唯味野支局管内金浦、撫養支局管内見能林、熊本支局管内津屋崎、尾道支局管内五海市、阪出支局管内三津濱及白鳥本町ニ於テ其ノ事實ヲ見ルノミ見能林ノ如キ同支局囑託員ノ設計ニ依リ耕地整理ノ方法ヲ講セラレタルモノニシテ津屋崎ノ如キ又福岡縣技師ノ設計ニ俟ツ所アリ其ノ他各地ノ加工方法多クハ囑託員ノ設計ヲ基礎トシテ調査シタリ而シテ養魚池ハ味野支局管内下津井鹽田、阪出支局管内興居島鹽田及引



田鹽田ニ之カ設計調査ヲ爲セルモ合計十七町餘歩ニ止マル其ノ他多クハ切上畑即チ四分ノ一又ハ三分ノ一ヲ堀上ケ其ノ他ノ部分ヘ盛土ヲ爲シ一部ヲ惡水溜ト爲シ一部ヲ畑ト爲スノ方法ニ依リ就中三田尻支局管内新港地方ニ於ケル切上畑ノ跡地ヲ養魚池トシテ調査シタリ其ノ他全ク加工ノ方法ヲ不得策ト認メタルモノハ其ノ儘雜種地トシテ調査シアリ若夫調査ノ方法及順序等ハ前年ニ於ケルト大同小異ニシテ茲ニ再說ヲ省ク

建物ノ調査方法ハ前年度ニ於ケルト同様ナリ但シ前年度整理地方ニハ自宅構内ニ於テ製鹽ヲ爲スモノ多數ヲ占メタルヲ以テ是等ニ對シテハ禁止後其ノ儘納屋又ハ物置場トシテ利用スル途アリ比較的有利ニ其ノ價格ヲ見積ルコトヲ得タルモ本年整理地ハ多ク入濱鹽田ニシテ比較的其ノ規模大ニシテ住宅ヲ離レテ獨立セルモノ多キニ依リ之カ禁止後ノ利用多クハ他ニ移築ノ爲之ヲ取壞ハスモノトシテ見積ラサルヘカラス從テ禁止後見込價格ハ比較的有利ニ之ヲ見積ルコト能ハサルモノ多ク一部ノ地方ニ農業納屋トシテ其ノ儘價格ヲ見積レル外ハ用材ヲ建築材料又ハ薪ニ葺草ハ肥料ニ利用ノ價格ヲ見積リタリ

設備器具器械ノ見積價格ハ其ノ物件ノ良否經過年數ノ長短ヲ勘案シ標準價格ヲ適用シテ之ヲ定メタルハ勿論ナルモ之カ調査ニ當リテハ其ノ正確公平ヲ主眼トシ苟モ其ノ使用材料ニシテ良好ナルカ若ハ其ノ構造ノ佳良ナルモノニ對シテハ適當ニ標準價格ニ割増又ハ割減ヲ爲シ以テ實際ニ適合スルニ深ク意ヲ用ヒタリ而シテ禁止後用途ハ中國地方及四國地方共ニ其ノ附近ニ製鹽地アルモノハ直ニ隣ノ製鹽用途ニ利用スヘキモノトシテ禁止後ノ見込價格ヲ定メ其ノ物件ノ性質上運搬ニ多大ノ費用ヲ要シ他ノ製鹽地ノ製鹽ニ利用スルコトノ困難ナルモノニ在リテハ其ノ物件ノ形狀ニ依リ或ハ農具ニ或ハ雜用ニ其ノ用途ヲ選擇シ金物類ニシテ其ノ儘利用シ難キモノハ地金トシ可及的有利ナル價格ヲ見積ルニ意ヲ注キタルノミナラス縱令土地ニ定著シ之ヲ取壞ス



モノニ在リテモ其ノ構成材料タル土石ノ如キモノニ對シテモ時ニ相當ノ價格ヲ見積リ禁止後ノ利用方法ヲ講スルヤ勉メテ至ラサルナキ状態ニ在リ

以上ノ如クシテ豫備調査ヲ終リタルモ豫備調査ハ前年度整理ニ付既ニ述フル所アリタルカ如ク右調査時期ハ時恰モ盛暑ノ候ニ遭遇シタルヲ以テ其ノ調査ノ困難ハ敢テ前年度ニ於ケルト擇フ所ナシ幸ニ本年度ハ前年度ニ於ケル經驗アリ調査ニ熟練セルヲ以テ調査ノ迅速ヲ期シ得タルト調査ヲ再三再四更訂スルカ如キコト比較的寡カリシトニ依リ直接之カ爲重患ヲ得又ハ調査ノ犠牲トナリテ職ニ殉シタルカ如キ凶事ヲ見サリシハ調査進行上賀スヘキコトニ屬ス

此クシテ豫備調査ノ結果ニ依ル交付金見込額ハ百三十二萬二千四百四十四圓餘トナリ之ヲ明治四十四年一月調査ノ交付金見込額百四十一萬一千八百九圓餘ニ比スルトキ九萬一千五百六十五圓餘ノ減額ヲ見ルニ至レリ而シテ此ノ如ク其ノ見込額ヲ減少シタルハ相續以外ノ承繼ヲ爲シタル爲轉業交付金ノ法律上ノ資格ヲ失ヒタル者アルト廢業ヲ爲シタル者アルニ因ルモ主トシテ精密調査ノ結果製鹽地其ノ他各種物件ノ禁止後見込用途及其ノ利用見込價格ヲ變更シ可及的有利ノ方法ヲ講シテ調査ヲ爲シタル結果ナリトス

明治四十四年度整理交付金見込額表

支局名	轉業		製鹽地	建物	省令第五條設 備器具器械		省令第六條 器具		計
	鹽製造者	鹹水製造者			円	円	円	円	
味野	五、二八六、七七九		六八、二二二、五五七	二、六三三、二四一	一、三三七、三七二	三二九、九九九	七七、七九九、八九八		
尾道	四、四五七、二五六	八三、二六四	三八、三〇六、五二七	三、〇六〇、五二二	二、四七六、〇四八	一七六、二七六	四八、五五九、八八三		
三田尻	一、〇、一三六、一三〇		九五、二二五、九五	四、四〇七、二三一	一、七八七、二〇九	三三〇、三八五	一一、八六六、一五〇		
阪出	一一、〇八八、一〇五		一一、〇、五七七、二九一	五、三〇九、八二一	一、四三五、〇三四	四九五、五九〇	一一八、八九九、八三一		
撫養	二、三〇五、九三三		一〇六、一三七、六六八	八、〇三三、四三三	六、五五〇、〇六六	四〇一、六四二	一一三、四二六、七三二		
熊本	五六、〇九〇、二六七	五、六二二	六三三、五九四、二二二	三六、九七六、〇二〇	一四、九五八、三八六	三、四六五、四七八	七四五、〇八九、九七五		



支局名	轉業		製鹽地	建物	省令第五條設備器具器械	省令第六條器具	計
	鹽製造者	鹹水製造者					
鹿兒島	六、四一六、三六六 円	八八、八七六	六八、一四五、二二五 円	二、八一七、九三五 円	六、二二一、八三三 円	一、〇一〇、四四〇 円	八四、六〇一、七九九 円
計	九五、七八〇、八三六		一一、二〇〇、一九二、六七五 円	六三三、二二六、一七三 円	三四、七五五、九四八	六、一九九、七六〇	一、三三〇、二四四、二六八 円
歩合	、〇七		八五	、〇五	、一〇	、一〇	、〇〇

備考

- 一 本表ハ豫備調査ノ見込額ヲ計上シタルモノトス
- 二 本表金額ノ内ニハ單位切捨トナルヘキモノヲ包含ス

第三款 交付金申請

明治四十四年度ニ於ケル申請書ノ作成及其ノ提出ノ狀況ハ前年度ニ於ケルト大差ナク全體ヲ通シ各取扱官署ニ於テ申請書提出ニ先チ豫メ關係人ト内協議ヲ爲シ何レモ政府ノ調査額ニテ之ヲ承諾スルニ至リタルヲ以テ本人ノ依頼ニ依リ各關係官署ニ於テ便宜申請書提出期間内ニ記入ヲ了シ洩ナク法定期間内ニ提出セシムルヲ得タリ尤阪出支局ノ如キハ本人ノ氏名以外ハ全部出張所ノ手ニ於テ之ヲ記載シ其ノ氏名ノミハ本人ヲシテ自署セシメタル向アリ又鹿兒島支局ノ如キハ一部ハ出張所ニ於テ之ヲ作成シ大部ハ申請人ヨリ作成方ヲ依頼セル代書人ヲ出張所ニ出頭セシメ出張所指示ノ下ニ作成セシ向アリ

申請額ニシテ調査金額ト一致セサルモノハ熊本支局全管ニ渉ル土地、阪出支局引田出張所ノ土地一件、味野支局管内寄島出張所ノ設備器具ニ一件アルノミニシテ其ノ他ハ全部調査額ト一致セリ尤熊本支局ニ於ケル土地ノ如キ其ノ差額タル僅少ノ額ニシテ其ノ大體ニ於ケル申請額ハ調査額ヲ認メタルモノナルヤ勿論ナリ申請書ハ本年度ハ前年度ニ比シ大ニ完備セリ其ノ主たる原因ハ申請件數ノ少ナキニ在ルハ勿論ナルモ申請書様式中省議ノ決定ニ依リ記載事項ノ省略セラレタ